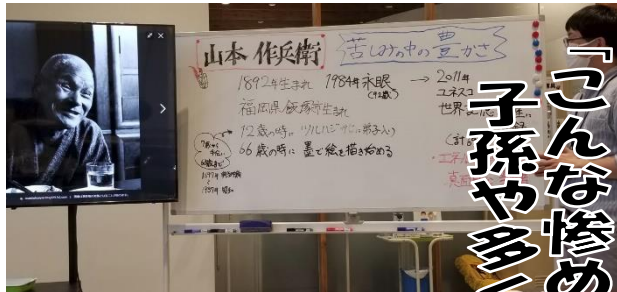


民報 ゆうばり

9条改憲NO! 全国署名にご協力を

炭鉱は日本の縮図、胸がいっぱいになる~作兵衛

私の絵にはひとつだけ嘘がある~誰よりも嘘を嫌った作兵衛だが、真っ暗な坑内を色鮮やかな水彩画で描き続けた



「こんな惨めな生活があったのか!」と
子孫や多くの人に知ってもらいたい

5月18日、拠点複合施設りすたにおいて、「ヤマの記憶」山本作兵衛が残した心」の上映会が開催されました。

「ヤマ」と親しまれる一方で「負の遺産」としての炭坑。落盤事故の悲劇や、死への恐怖。

さらに、遺族が耐え忍んできた苦悩... 作兵衛の貴重な生前の映像や原画、そして遺族や炭坑に関わった人々の証言を交え、日本を支えた炭坑夫たちの「ヤマへの思い」をつまびらかにしていきます。

作兵衛は明治39(1892)年に生まれ、7、8歳のころから兄とともに坑内に入り、炭車押しなどで家計を助けながら小学校を卒業。

15歳で嘉穂郡山内炭坑に坑内夫として入坑したのが坑夫生活の始まりで、以後、昭和30(1955)年に田川市位登炭坑を閉山によって退職するまで、約50年間に移り住んだ炭坑は18を数えています。

「七つ八つからカンテラ提げて坑内さがるも親の罰ゴットン(夕張市所蔵)

戦死した兄のことを粉らすために絵を描くようになったのは、田川市弓

ウクライナ危機に便乗の改憲自公政権 9条改憲NO! 全国署名にご協力下さい

5月22日、日本共産党夕張総合後援会は署名行動と、くまがい桂子市議は街頭からの訴えを行いました。

この日小雨の中、くまがい市議が「ウクライナ危機に便乗して、岸田自公政権が憲法を変えて、戦争できる国にしようと狙って、軍事費を今の二倍にしようとしています。今でも、年金の引き下げや公的病院の削減がされているのに、さらに消費税の値上げや社会保障の切り下げも懸念されます。平和憲法を持つ日本は、憲法を生かした政治にすべきです。また、大企業がため込む内部留保466兆円の一部を、中小企業の支援に回し、最低賃金1500円に」「7月の参議院選挙は日本共産党の躍進を」と訴えていました。

9条改憲 NO!

政府に優先してほしい政策

- 年金・介護・医療 69.7%
- 景気・雇用 61.4%
- 環境・エネルギー 44.2%
- 子育て支援・教育 44.2%
- 新型コロナ対策 41.1%
- 憲法改正 12.5%

男女の賃金格差 1億円

あかしなび!?

企業ごとに賃金格差の好評と是正を

日本共産党

家計を応援し 経済ボトムアップ

- 消費税5%に
- 中小企業支援とセットで最低賃金自給1500円に
- 大学の学費半減、入学金廃止



市の「作兵衛展」を説明する上木元美術館長

のことが頭から消えないため、気をまぎらわすために日記の裏などに炭坑の絵を描くようになったと語っています。

昭和59(1984)年12月没。享年92歳。

「日本の炭鉱は、日本の縮図のように思われて、胸がいっぱいになります」作兵衛が語ったこの



言葉、多くの夕張市民も同じ思いではないでしょうか。

紅葉山パークゴルフ場 「ご利用してください お待ちしています！」

夕張川の河川敷で、森林浴をしながらプレーを楽しめる紅葉山パークゴルフ場。今年も5月1日にオープンしました。

5月21日には今年度第1回の市民大会が開催され、20名を超える市民が参加。真剣な表情、たくさん笑顔、「ナイスイン！」の声、青空の下で皆さん和気あいあいと楽しみました。

市民の貴重な財産である紅葉山パークゴルフ場。会場管理やコース整備、市民大会の企画運営等は、「同パークゴルフ場を守る市民の会」が担っています。



※(訂正とお詫び)4月24日1671号1面囲み記事9行目内に3億円を越える...を約1億5千万円と訂正します。誤数字と訂正の遅れをお詫び申し上げます。(編集局)



くずさんの 夕張歴史散歩(179)

石炭のはなし (馬のはなし①)

夕張の新たな駅をめぐってその周辺の移り変わりを寄り道してきました。夕張発展の中心地らしく市役所の新設・市民会館とその大ホールの完成で、夕張は大きく変わりました。

特に大ホールには本格的な舞台が生まれ、映画や芝居・音楽と大いに夕張の文化の発展に寄与しました。

しかしこの大ホールも、市財政破綻といういわば国の地方財政に対する見せしめにされたことにより、図書館・美術館と共に夕張市から切り離されてしまいました。

現在は市民会館共に閉鎖され、ベニヤ板ですべて覆われ廃墟の姿をさらしています。夕張という地域文化の崩壊を感じる思いです。

馬車が主力に

さて、だいぶ横道に踏み込みました。石炭の輸送に鉄道が使用され、そこから駅の話になり、昔懐かしい新夕張駅、そしてその界隈の変わり方などいぶん道草をしました。

そろそろ本題に戻りましょう。切羽で掘り出された石炭は、かつては馬が主力で坑道を往復します。慣れた馬は仕事が終わりに出坑するときは、手綱を引かなくても自分でいそいそと帰ったと言われています。

馬頭観音

北炭夕張第1鉱に近く、丁末に至る道路わきに馬頭観音が夕張鉱馬丁たちの手によって建立されています。いかに炭鉱で馬が大切な役割を担ったかを示しています。台座には馬丁たちの名がびっしりと刻まれています。



紙智子「国会かけある記」
参議院議員
紙智子

根室市・斜里町を訪れて

ロシアのウクライナ侵略の影響が北方4島との交流、漁業や地域経済に影を落としているのではないか。5月21日、そんな思いで根室に向かい千島・歯舞居住者連盟の皆さんと懇談しました。

参議院選挙の公示まであと一カ月、北海道内を駆け巡る畠山和也参院北海道選挙区予定候補(元衆院議員)、佐々木とし子(元帯広市議) 比例予定候補も一緒です。

「プーチン大統領の顔色を見ながらの交渉では前に進まないことがハッキリした。国はもっと先の見える方針を持って解決にあたってほしい」と厳しく指摘されます。

ウクライナ危機は、第二次大戦終了直後に、着の身着のまま命がけで、北海道に逃げた時の思いが重なるとも言われました。

領土返還運動で今もつても望んでいることは何ですかと聞くと「年齢を考えるといつまで運動が続けられるか不安だ。三世、四世と次の世代につなぐ方策を持ってほしい」と言われました。故郷を返せ、この思いをつなぐことも政治の責任です。

22日は斜里町ウトロへ移動。日曜日にも関わらず馬場隆斜里町長と漁業者に会うことが出来ました。町長は観光船事故直後から国や道と連携し人命救助を最優先に、被害者家族の皆さんの怒りや失望、不安に寄り添って対応してきたと言われます。

漁業者だった町長も漁業者も、海は一瞬にして状況が変わる。人を乗せて運行する者は、命を預かっていることを忘れてはならないと口々に言われます。事業者任せにした国の責任も問われます。